

令和5年9月

一般財団法人熊本県伝統工芸館の
経営状況を説明する書類

熊 本 県

目 次

一般財団法人熊本県伝統工芸館の概要 1

令和4年度の決算に関する書類

第1 事業状況報告書 7

第2 決算書 14

令和5年度の事業計画に関する書類

第1 事業計画書 23

第2 収支予算書 29

I 一般財団法人熊本県伝統工芸館の概要

一般財団法人熊本県伝統工芸館について

1 代表者

理事長 江藤 公俊

2 所在地

熊本市中央区千葉城町3番35号

3 設立年月日等

昭和57年6月28日 設立

昭和57年8月10日 熊本県伝統工芸館開館

平成22年11月1日 一般財団法人へ移行

4 設立目的

本県の伝統的工芸品産業の育成と振興、並びに伝統的工芸品に関する啓発普及を図ることにより、県民の生活に豊かさと潤いをもたらし、県民の生活文化の向上に寄与することを目的として設立。

5 基本財産

20,000千円

うち、県の出資額 20,000千円（県の出資割合 100%）

6 施設（熊本県伝統工芸館）の概要

鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階

建物面積 1,481㎡ 延床面積 3,017㎡

地階：地下会議室、和室

1階：一階展示室、展示即売室、工房、倉庫、休憩室、事務室

2階：常設展示室、二階会議室、二階展示室A、二階展示室B、
収蔵庫、資料室、館長室

Ⅱ 令和4年度の決算に関する書類

第 1 事業状況報告書

1 事業の概況

(1) 総括

一年を通し、「手で観る、市の立つ、誂えのきく工芸館」のコンセプトに沿った取組みを進めてきた。令和4年度は、伝統工芸館開館40周年という記念すべき年に当たったことから、工芸館の設立に深く関わった工業デザイナー故・秋岡芳夫氏を核とした記念展示や工芸館の歩みを紹介する企画展示などを実施し、多くの来館者を得た。令和3年度と比較して来館者数、会場使用料及び工芸ショップ巧の売上高ともに増加したものの、40周年事業に係る経費、光熱水費の高騰等の支出の増加により正味財産は15千円減少した。

令和4年度末正味財産期末残高	83,587千円・・・a
令和3年度末正味財産期末残高	83,602千円・・・b
正味財産増減額(a-b)	△15千円

① 工芸館の運営・管理及び伝統的工芸品の振興育成

工芸館の伝統的工芸品の常設展示、貸展示室、ショップ、工房等を備える多目的総合施設としての機能を維持するため、運営・管理を適正に行った。

また、県内外に向けて、工芸品産地の振興や工芸家の育成に関する啓発・普及に取り組んだ。

② 新型コロナウイルス対策

赤外線カメラや空気清浄機の効果的な活用に努めるとともに、県や公益財団法人日本博物館協会の感染拡大予防ガイドライン等を遵守するなど可能な限りの対策を講じた。

③ 伝統的工芸品の販売促進

伝統的工芸品の販売促進（需要拡大）事業については、工芸ショップ匠での売上目標値は達成したものの、新型コロナウイルス感染症発生以前の水準には回復していない。今後は、通信販売をはじめとした販売力強化、売上向上に取り組む必要がある。

(2) 施設の利用状況

区 分		延日数	来場者数	主な利用形態
2階	企画常設展示室	238日	8,136人	常設展示のほか企画展示に使用
	展示室A	329日	16,443人	各種展示会に貸出
	展示室B	320日	14,110人	各種展示会に貸出
	会議室	4日	61人	各種会議等に貸出
1階	展示室	312日	25,522人	各種展示会に貸出
	工房	190日	2,047人	伝統工芸普及活動に使用
	ショップ匠	304日	5,777人	伝統的工芸品販売 (※)
地下	和室	216日	8,687人	茶会及び各種展示会に貸出
	会議室	57日	3,296人	各種会議及び各種展示会に貸出
合 計		1,970日	84,079人	(対前年度比 31%増)

(3) 観覧料及び使用料の収入状況

区 分	金 額	摘 要
企画常設展示室観覧料	923,450円	
各展示室使用料	6,552,470円	
各会議室使用料	514,480円	
合 計	7,990,400円	(対前年度比 14%増)

(4) 目標と実績値

① 入館者数

目標値 年間 90,000人
 実績 84,079人 (目標値の93%、対前年度比31%増)

② 工芸品の売上げ

ア 工芸ショップ匠の売上

目標値 年間 30,000千円
 実績 30,250千円 (目標値の100.8%、対前年度比8.6%増)

イ 通信販売の売上

目標値 年間 1,500千円
 実績 1,676千円 (目標値の111.7%、対前年度比28%増)
 (うち、ふるさと納税678千円を含む)

2 事業別概要

(1) 指定管理事業（指定管理部門）

① 伝統的工芸品及び関連する資料の収集、保管及び展示に関する業務

備品（収蔵品）台帳に基づき、約4,500点の収蔵品を管理するとともに、「常設展示コーナー」において、工芸館が収蔵する国指定及び県指定の伝統的工芸品や、現代の暮らしに活かせる生活工芸品（桶、包丁、家具、竹細工、肥後象がん、陶磁器、玩具等）を展示した。

ア 企画常設展示室における展示

展 示 会 名	開催時期	来場者数
花を飾る器 展	3/18～5/5	428人 (4/1～5/5)
城下町を彩る華道展 ～くまもとの工芸と花の饗宴～	【前期】5/13～5/15 【後期】5/20～5/22	1,089人
第50回伝統工芸日本金工展 in 熊本	6/18～7/18	565人
本県伝統工芸館開館40周年記念事業 くまもとの いいモノ ほしいモノ 展	8/2～10/10	3,100人
くらしの工芸展 40年の歩み	10/25～1/9	1,475人
The Craftsman 刀剣・人吉球磨刃物・高田焼・手漉き和紙	1/31～4/2	1,371人 (1/31～3/31)

イ 1階展示室・2階展示室・地下展示室における企画展示

(ア) 企画展

展 示 会 名	開催時期	来場者数
第40回記念 くらしの工芸展2022	11/1～11/6	1,330人
涼の工芸展	7/12～7/18	795人
熊本県伝統工芸館40周年記念事業 秋岡芳夫とグループモノ・モノが提唱する 「低座の椅子と暮らしの道具」展	8/2～8/14	2,248人
熊本県伝統工芸館40周年記念事業 ・秋岡芳夫と工芸	8/2～8/14	1,031人
熊本県伝統工芸館40周年記念事業 ・熊本県伝統工芸館と熊本の工芸のあゆみ	8/2～8/19	1,031人
暖の工芸展	2/14～2/19	627人

(イ) 工芸産地育成支援展

当財団として展示会への後援等支援を行い、各主催者が消費者との接点を見いだすことによって、新商品の開発や販売促進に繋いだ。

展 示 会 名	開催時期	来場者数
くまもとい草工芸展	5/24～5/29	571人
上益城の工芸展	6/7～6/12	743人
八代の工芸展	9/13～9/19	377人
熊本県文化協会クラフト部門展	10/18～10/23	1,232人
伝匠会展	12/6～12/11	659人
天草陶磁器展 (国指定伝統的工芸品)	2/28～3/5	1,332人
あさぎり町てしごと展	3/28～4/2	432人 (3/28～3/31)

② 展示、研修及び会議のための施設提供及び施設使用許可に関する業務

施設の許可 213件
使用許可取消 16件

③ 伝統的工芸品産業の振興及び発展に関する業務

ア 工芸館に関する広報

工芸館主催の企画展については、テレビ、新聞等のマスメディアに積極的に取材依頼を行い、効果的な情報発信を行った。また、催事案内や展示会、工芸品、工芸家、工芸協会、工芸ショップ匠、熊本県伝統工芸館友の会（以下、「友の会」という。）等に関する各種情報についても、ホームページやブログ、フェイスブック、インスタグラム等を活用するとともに、生活情報誌や友の会会報、観光情報誌、インターネットによる情報サイト、企業の社内誌等へ広報の提案・紹介を意欲的に行い、多様な情報発信を行った。

イ 伝統的工芸品の作り手（工芸家）の人材育成

(ア) 「二代目」等に対する支援

熊本県の伝統的工芸品産業の技術の向上と後継者の確保を図るため、熊本県伝統工芸協会会員及び会員で構成されるグループが展示会等を開催する際の支援として伝統的工芸品振興チャレンジ推進助成金を創設した。令和4年度は、4個人、3グループに助成を行った。

(イ) 後継者育成事業

熊本県が実施する伝統的工芸品産業新たな担い手確保育成支援事業に協力し、工芸家2名に後継者の候補4名をマッチングさせることができた。

ウ 伝統的工芸品産地の育成支援

(ア) 伝統的工芸品の国指定を受けた組合に対する支援

小代焼窯元の会、肥後象がん振興会、山鹿灯籠振興会、天草陶磁振興協議会については、会の運営や補助事業等について、助言指導を行い、産地育成の取組みに対して支援を行った。

(イ) 伝統的工芸品産地の育成のための支援

県内産地が工芸館で開催する展示会等について、必要な助言指導等の支援を行った。

エ 伝統的工芸品産業の振興を通じた地域貢献等

熊本市教育センター及び熊本大学と連携して、不登校の児童や生徒を対象に、伝統工芸の基礎技術、ものづくりの魅力を伝え伝統工芸への興味を高める取組みを行った。また、小学校の修学旅行や社会見学等に対しては、希望に応じて企画・常設展示室の案内・解説を行った。

オ 伝統的工芸品産業に関する団体との連携

熊本県伝統工芸協会の運営支援を行った。友の会については、展示会の共催、産地巡り事業の後援を行うとともに、会報誌発行や友の会主催の展示販売会に対して助成を行った。

なお、展示会等の開催に当たっては、展示品の相互貸借・情報の交換等により、県内外の美術館・博物館等とも連携を図った。

カ 工芸館外での各種展示や催事等への協力による工芸品の紹介

熊本県庁における秘書グループ内陳列棚、知事応接室、1階ロビー県産品紹介棚、グランメッセ熊本の通路、熊本県信用保証協会のロビーでの展示紹介を通年で行うとともに、ホテルオークラ東京の客室フロアでの工芸品展示を行った。さらに、みやぎ地場産品開発流通研究会との連携による宮城県仙台市郊外での「仙台・秋保×熊本 手しごと処々-vol13-」や、東北工業大学との連携による仙台市内での「時松辰夫追悼記念展示会」に、出品販売を行った。

また、海外では、中国「重慶青山スクエアと熊本県共同PRイベント」(2/25~3/11)における展示販売会に出品し、オンラインで産地PRも行った。

(2) 指定管理事業（ショップ部門）

① 伝統的工芸品の需要開拓

伝統的工芸品の販売額のアップや販売力の向上のため、以下の取組みを行った。

ア 工芸ショップ匠における伝統的工芸品の周知

工芸ショップ匠の強みでもある誂えや修理を強調したPRや、SNSを活用したイベント情報や新商品の入荷情報等の発信、館長によるホテルへのセールス活動を行い、工芸館・工芸ショップ匠のさらなる周知を行った。

さらに、顧客やユーザーからの要望に沿って、工芸家やギャラリーを積極的に紹介し、作り手と使い手をダイレクトに繋いだ。

イ 工芸ショップ匠の販売力の向上

県販路開拓事業「くまもとものづくり紀行」に協力し、開発された新商品をPR販売した。また、熊本市の「バス・電車 子ども無料の日」(11/5・3/18)にイベント協力をを行い、来館者増と販売促進を図った。

さらに、全国旅行支援クーポン「くまもと再発見の旅」や「旅するくまモンパスポート」等の取扱店舗にも登録し、顧客のニーズに対応した体制を整えた。

ウ 県内企業・官公庁・団体等からの受注対応

県内企業、官公庁、団体等からの大口の受注に対応するとともに、手仕事の強みであるオーダーメイドの記念品制作を行った。

エ 令和2年7月豪雨災害支援コーナーの設置

豪雨災害の支援コーナーを設け、被災された工芸家の作品を販売し、売上金額の全額を被災された工芸家の方々へ還元した。

オ 通信販売（ネットショップ・電話注文・ふるさと納税）

工芸館のフェイスブック・Instagramを活用して新商品・季節商品の紹介を行った。また、県に働きかけて、県ふるさと納税への商品登録を増やし、工芸品の販売促進を図った。

カ 外国人旅行者への対応策

令和元年度に免税販売体制を整備したが、コロナ禍により外国人観光客の来館がほとんどなくなったため免税ショップの指定を取り下げた。昨今、来館者が少しずつ増加傾向にあることから、再申請と、それに伴う免税販売手続きのレジシステムの導入を調査検討した。

② 販売商品の充実

40周年記念展において新商品等、工芸家が一押しする商品の展示販売を行った。また、工芸家に対する季節商品や新商品の出品の呼びかけや、商品受領のために職員が工房へ出向くことで、商品の充実を図った。

(3) 公益目的事業（熊本県伝統的工芸品産業振興事業）

① 伝統的工芸品産業に係る人材を育成するための助成事業

伝統的工芸品産業に従事する若手工芸家や将来の発展が期待できる者などが研修を受ける場合に経費の一部を助成した。令和4年度は、工芸家3名の申し込みがあり、うち1名に助成することを決定したが、研修日程が合わず、助成取り下げとなった。

② 匠の技と心記録事業

令和4年度熊本県伝統工芸情報発信事業に協力し、工芸家4名の記録映像撮影に同行して調査・撮影支援を行い、工芸館のホームページで公開した。

- ・厚賀新八郎氏（おぼけの金太）
- ・岡 正文氏（鋸）
- ・平本靖二氏（五月節句幟）
- ・藤本康祐氏（屋根飾瓦細工）

③ 伝統的工芸品普及広報事業

ア 40周年記念事業セレモニーの開催

40周年記念事業セレモニー（8/2）を行い、生演奏ライブ、コーヒーサービス、記念品の配布などPRを行った。

イ ワークショップ・講演会等の実施

これからの暮らし方と工芸への理解を深めるため、「消費者をやめて愛用者になろう！」をテーマに、県内外の工芸家等と連携してワークショップや講習会等を計21回開催した。

ウ 県内施設・団体との連携事業

KKRホテル熊本と連携し、同ホテル和食レストラン「日本料理まつり」に県内13工房の飯碗を30個提供し、熊本の飯碗でランチを食していただくことで、伝統的工芸品のPRを行った。

エ 熊本の伝統工芸の魅力発信事業

ニューコ・ワン株式会社と連携し、蔦屋書店イオンモール筑紫野（パネル展7/15～7/31、展示販売8/17～9/4）、蔦屋書店熊本三年坂（9/26～10/3）において、ポップアップ販売と工芸実演を行い、県内外の若年層に熊本の工芸をPRした。

第2 決算書

貸借対照表

令和5年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	44,369,713	42,492,762	1,876,951
商品	122,843	116,724	6,119
未収金	222,429	1,290,555	△ 1,068,126
売掛金	1,246,585	1,142,841	103,744
立替金	520	0	520
貯蔵品	0	484,000	△ 484,000
前払金	103,400	129,800	△ 26,400
流動資産合計	46,065,490	45,656,682	408,808
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	3,426,964	3,073,496	353,468
財政調整積立金	15,500,000	15,500,000	0
産業振興資金	2,710,946	2,770,041	△ 59,095
工芸品等取得資金	4,278,346	4,404,312	△ 125,966
企画展事業積立金	3,000,000	3,000,000	0
特定資産合計	28,916,256	28,747,849	168,407
(3) その他固定資産			
工芸品	2,345,751	2,219,751	126,000
車両運搬具	1	1	0
その他固定資産合計	2,345,752	2,219,752	126,000
固定資産合計	51,262,008	50,967,601	294,407
資産合計	97,327,498	96,624,283	703,215
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,348,056	5,677,594	△ 1,329,538
預り金	2,554,153	2,391,703	162,450
前受金	616,346	490,760	125,586
賞与引当金	1,481,640	0	1,481,640
未払法人税等	128,800	40,500	88,300
未払消費税等	1,184,100	1,347,300	△ 163,200
流動負債合計	10,313,095	9,947,857	365,238
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,426,964	3,073,496	353,468
固定負債合計	3,426,964	3,073,496	353,468
負債合計	13,740,059	13,021,353	718,706
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	0
2. 一般正味財産			
正味財産合計	63,587,439	63,602,930	△ 15,491
負債及び正味財産合計	97,327,498	96,624,283	703,215

貸借対照表内訳表

令和 5年 3月31日現在

一般財団法人 熊本県伝統工芸館

(単位：円)

科 目	一般会計			
	実施事業等 会計	その他会計	法人会計	小計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	517,195	43,852,518	0	44,369,713
商品	0	122,843	0	122,843
未収金	0	222,429	0	222,429
売掛金	0	1,246,585	0	1,246,585
立替金	0	520	0	520
前払金	0	103,400	0	103,400
流動資産合計	517,195	45,548,295	0	46,065,490
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	0	0	20,000,000	20,000,000
基本財産合計	0	0	20,000,000	20,000,000
(2) 特定資産				
退職給付引当預金	0	3,426,964	0	3,426,964
財政調整積立金	0	15,500,000	0	15,500,000
産業振興資金	2,710,946	0	0	2,710,946
工芸品等取得資金	0	4,278,346	0	4,278,346
企画展事業積立金	0	3,000,000	0	3,000,000
特定資産合計	2,710,946	26,205,310	0	28,916,256
(3) その他固定資産				
工芸品	0	2,345,751	0	2,345,751
車両運搬具	0	0	1	1
その他固定資産合計	0	2,345,751	1	2,345,752
固定資産合計	2,710,946	28,551,061	20,000,001	51,262,008
資産合計	3,228,141	74,099,356	20,000,001	97,327,498
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	0	4,348,056	0	4,348,056
預り金	5,874	2,543,684	4,595	2,554,153
前受金	0	616,346	0	616,346
賞与引当金	0	1,481,640	0	1,481,640
未払法人税等	0	128,800	0	128,800
未払消費税等	0	1,184,100	0	1,184,100
流動負債合計	5,874	10,302,626	4,595	10,313,095
2. 固定負債				
退職給付引当金	0	3,426,964	0	3,426,964
固定負債合計	0	3,426,964	0	3,426,964
負債合計	5,874	13,729,590	4,595	13,740,059
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	20,000,000	20,000,000
2. 一般正味財産				
正味財産合計	3,222,267	60,369,766	△ 4,594	63,587,439
負債及び正味財産合計	3,228,141	74,099,356	20,000,001	97,327,498

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

一般会計		(単位：円)		
科 目	当年度	前年度	増 減	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	105	400	△ 295	
基本財産利息収入	105	400	△ 295	
特定資産運用益	108	223	△ 115	
退職給与引当利息	39	148	△ 109	
産業振興助成積立金利息	35	2	33	
工芸品等取得預金利息	34	73	△ 39	
事業収益	17,626,708	16,014,620	1,612,088	
受取運営事業収益	231,124	181,259	49,865	
販売手数料等収入	8,330,338	7,763,909	566,429	
ネットショップ売上収入	62,454	180,029	△ 117,575	
商品売上収入	1,012,392	898,033	114,359	
使用料・観覧料収入	7,990,400	6,991,390	999,010	
受取指定管理料	80,280,000	78,000,000	2,280,000	
県受託金収入	80,280,000	78,000,000	2,280,000	
受取寄付金	3,908	12,848	△ 8,940	
受取寄付金	3,908	12,848	△ 8,940	
雑収益	1,940,800	563,874	1,376,926	
運用財産受取利息	735	862	△ 127	
雑収益	1,940,065	563,012	1,377,053	
経常収益計	99,851,629	94,591,965	5,259,664	
(2) 経常費用				
事業費	97,297,241	84,900,174	12,397,067	
給与手当	29,516,186	28,585,940	930,246	
臨時雇賃金	7,946,895	7,524,646	422,249	
賞与	5,361,426	5,651,943	△ 290,517	
退職給付費用	353,468	0	353,468	
退職年金掛金	919,477	873,824	45,653	
福利厚生費	6,380,167	6,352,748	27,419	
報酬	0	33,000	△ 33,000	
会議費	230,266	8,380	221,886	
旅費交通費	1,594,026	967,083	626,943	
交際費	423,175	180,743	242,432	
通信運搬費	2,040,297	1,865,709	174,588	
広告料	1,855,267	562,800	1,292,467	
減価償却費	0	682,222	△ 682,222	
消耗什器備品費	165,000	0	165,000	
消耗品費	2,641,854	1,620,682	1,021,172	
修繕費	273,530	1,119,910	△ 846,380	
印刷製本費	1,258,085	994,110	263,975	
光熱水料費	8,671,189	6,427,009	2,244,180	
賃借料	1,065,273	1,164,873	△ 99,600	
保険料	52,670	48,380	4,290	
支払手数料	540,426	513,089	27,337	
諸謝金	1,266,093	368,112	897,981	

科 目	当年度	前年度	増 減
租税公課	7,631,937	6,967,180	664,757
工芸品収集費	200,000	170,000	30,000
支払負担金	841,689	830,607	11,082
支払助成金	486,000	73,000	413,000
支払寄付金	484,000	0	484,000
委託費	12,764,421	10,859,604	1,904,817
商品仕入費	757,714	388,146	369,568
賞与引当金繰入	1,481,640	0	1,481,640
雑費	94,410	63,610	30,800
雑損失	660	2,824	△ 2,164
管理費	2,569,879	3,178,317	△ 608,438
役員報酬	176,000	207,500	△ 31,500
給与手当	602,371	583,386	18,985
賞与	109,416	115,345	△ 5,929
退職給付費用	0	309,875	△ 309,875
退職年金掛金	20,683	19,656	1,027
福利厚生費	136,857	136,269	588
報酬	176,000	264,000	△ 88,000
会議費	8,100	16,050	△ 7,950
旅費交通費	145,834	101,148	44,686
交際費	48,000	0	48,000
通信運搬費	38,100	31,934	6,166
減価償却費	0	25,477	△ 25,477
消耗品費	87,348	49,725	37,623
修繕費	0	102,124	△ 102,124
印刷製本費	38,705	22,290	16,415
光熱水料費	204,132	151,301	52,831
保険料	58,480	80,460	△ 21,980
支払手数料	990	1,760	△ 770
租税公課	223,863	161,917	61,946
委託費	495,000	798,100	△ 303,100
経常費用計	99,867,120	88,078,491	11,788,629
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 15,491	6,513,474	△ 6,528,965
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 15,491	6,513,474	△ 6,528,965
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,491	6,513,474	△ 6,528,965
一般正味財産期首残高	63,602,930	57,089,456	6,513,474
一般正味財産期末残高	63,587,439	63,602,930	△ 15,491
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産期末残高	20,000,000	20,000,000	0
III 正味財産期末残高	83,587,439	83,602,930	△ 15,491

正味財産増減計算書内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

一般財団法人 熊本県伝統工芸館

(単位：円)

科 目	一般会計			
	実施事業等会 計	その他会計	法人会計	小計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	105	0	105
基本財産利息収入	0	105	0	105
特定資産運用益	35	73	0	108
退職給与引当利息	0	39	0	39
産業振興助成積立金利息	35	0	0	35
工芸品等取得預金利息	0	34	0	34
事業収益	0	17,626,708	0	17,626,708
受取運営事業収益	0	231,124	0	231,124
販売手数料等収入	0	8,330,338	0	8,330,338
ネットショップ売上収入	0	62,454	0	62,454
商品売上収入	0	1,012,392	0	1,012,392
使用料・観覧料収入	0	7,990,400	0	7,990,400
受取指定管理料	0	80,280,000	0	80,280,000
県受託金収入	0	80,280,000	0	80,280,000
受取寄付金	3,908	0	0	3,908
受取寄付金	3,908	0	0	3,908
雑収益	4	1,940,796	0	1,940,800
運用財産受取利息	4	731	0	735
雑収益	0	1,940,065	0	1,940,065
経常収益計	3,947	99,847,682	0	99,851,629
(2) 経常費用				
事業費	1,943,800	95,353,441	0	97,297,241
給与手当	903,556	28,612,630	0	29,516,186
臨時雇賃金	0	7,946,895	0	7,946,895
賞与	164,125	5,197,301	0	5,361,426
退職給付費用	0	353,468	0	353,468
退職年金掛金	15,042	904,435	0	919,477
福利厚生費	117,306	6,262,861	0	6,380,167
会議費	0	230,266	0	230,266
旅費交通費	20,433	1,573,593	0	1,594,026
交際費	0	423,175	0	423,175
通信運搬費	26,424	2,013,873	0	2,040,297
広告料	0	1,855,267	0	1,855,267
消耗什器備品費	0	165,000	0	165,000
消耗品費	33,317	2,608,537	0	2,641,854
修繕費	0	273,530	0	273,530
印刷製本費	170,922	1,087,163	0	1,258,085
光熱水料費	150,880	8,520,309	0	8,671,189
賃借料	0	1,065,273	0	1,065,273
保険料	11,250	41,420	0	52,670
支払手数料	2,530	537,896	0	540,426
諸謝金	291,015	975,078	0	1,266,093
租税公課	0	7,631,937	0	7,631,937
工芸品収集費	0	200,000	0	200,000
支払負担金	0	841,689	0	841,689
支払助成金	37,000	449,000	0	486,000
支払寄付金	0	484,000	0	484,000
委託費	0	12,764,421	0	12,764,421
商品仕入費	0	757,714	0	757,714

科 目	一般会計			
	実施事業等会計	その他会計	法人会計	小計
賞与引当金繰入	0	1,481,640	0	1,481,640
雑費	0	94,410	0	94,410
雑損失	0	660	0	660
管理費	0	0	2,569,879	2,569,879
役員報酬	0	0	176,000	176,000
給与手当	0	0	602,371	602,371
賞与	0	0	109,416	109,416
退職年金掛金	0	0	20,683	20,683
福利厚生費	0	0	136,857	136,857
報酬	0	0	176,000	176,000
会議費	0	0	8,100	8,100
旅費交通費	0	0	145,834	145,834
交際費	0	0	48,000	48,000
通信運搬費	0	0	38,100	38,100
消耗品費	0	0	87,348	87,348
印刷製本費	0	0	38,705	38,705
光熱水料費	0	0	204,132	204,132
保険料	0	0	58,480	58,480
支払手数料	0	0	990	990
租税公課	0	0	223,863	223,863
委託費	0	0	495,000	495,000
経常費用計	1,943,800	95,353,441	2,569,879	99,867,120
評価損益等調整前当期経常増減	△ 1,939,853	4,494,241	△ 2,569,879	△ 15,491
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,939,853	4,494,241	△ 2,569,879	△ 15,491
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産	△ 1,939,853	4,494,241	△ 2,569,879	△ 15,491
他会計振替額	△ 1,878,796	4,448,674	△ 2,569,878	0
当期一般正味財産増減額	△ 61,057	45,567	△ 1	△ 15,491
一般正味財産期首残高	3,283,324	60,324,199	△ 4,593	63,602,930
一般正味財産期末残高	3,222,267	60,369,766	△ 4,594	63,587,439
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	20,000,000	20,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	20,000,000	20,000,000
III 正味財産期末残高	3,222,267	60,369,766	19,995,406	83,587,439

財産目録

令和 5年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	184,501
	預金	普通預金		44,185,212
		商工中金		255
		肥後銀行 会計口座		27,868,955
		ショップ売上金		9,995,052
		肥後：プール		1,499,151
		肥後：寄付金		517,195
		肥後：会場使用		3,922,311
		肥後：観覧料		382,293
		商品		122,843
		未収金		222,429
		その他		222,429
	売掛金	1,246,585		
	立替金	520		
	前払金	103,400		
流動資産合計				46,065,490
(固定資産)	基本財産	定期預金		20,000,000
		特定資産		
	その他固定資産	退職給付引当預金		3,426,964
		財政調整積立金		15,500,000
		産業振興資金		2,710,946
		工芸品等取得資金		4,278,346
		企画展事業積立金		3,000,000
		工芸品		2,345,751
車両運搬具		1		
固定資産合計				51,262,008
資産合計				97,327,498
(流動負債)	未払金			4,348,056
	売上金			2,105,188
	その他			2,242,868
	預り金			2,554,153
	ショップ売上			1,500,021
	源泉税			105,888
	住民税			85,100
	社会保険			861,644
	その他			1,500
	前受金			616,346
	施設利用料			402,346
	商品券			214,000
	賞与引当金			1,481,640
	未払法人税等			128,800
	未払消費税等			1,184,100
流動負債合計				10,313,095
(固定負債)	退職給付引当金			3,426,964
固定負債合計				3,426,964
負債合計				13,740,059
正味財産				83,587,439

Ⅲ 令和5年度の事業計画に関する書類

第1 事業計画

1 総括

- (1) 令和5年度は、指定管理者として第4期の3年目の年度である。引き続き、熊本県との指定管理に関する協定に基づき、工芸家や来館者にとってこれまで以上に魅力ある工芸館となるよう管理運営を行う。
- そのため、工芸館開館以来のコンセプトである「手で観る、市の立つ、誂えのきく工芸館」を基本に、財団の機能と蓄積してきた専門的ノウハウを生かし、現代の工芸ファンが工芸館に期待するものを常に把握しながら諸事業を展開していく。
- また、令和4年度に工芸館の開館40周年を迎えたが、今後も社会経済状況の大きな変化に対応すべく、限られた人員と予算の範囲内で、県とも連携しながら、効果的かつ効率的な管理・運営を行っていく。
- (2) 施設設備については、開館以来40年が経過し全体が老朽化していく中で、適正な管理に努め、施設や設備の修繕が必要な場合は、施設の所管者である県と協議しながら、迅速かつ的確に対応する。
- また、令和6年度に予定されている大規模修繕に向け、今年度を実施される県の設計業務に協力するとともに、来館者並びに貸展示室等の使用者等への質の高いサービスの提供方法について検討する。
- (3) 工芸家の方々の事業支援や後継者育成等のため、県及び関係団体、工芸家の方々等との連携・協力が不可欠である。そのためには、これまで以上に工芸家との交流を密にして、課題解決等に向けた具体的な支援を行うことで、熊本県伝統工芸協会や工芸家の方々から「信頼される、頼りにされる工芸館づくり」を進める。
- さらに、令和4年度に立ち上げた「チャレンジする」工芸家への支援事業に引き続き取り組むとともに、県の後継者育成のための事業を支援する。
- (4) 県内の工芸を県外に発信するとともに、企画常設展示業務においては、県内外の優れた工芸品を日常的に親しむ機会を提供することで工芸の良さを知ってもらうための企画展等を開催する。
- また、県や熊本県伝統工芸協会、熊本県伝統工芸館友の会をはじめ、地域の商店街や商工団体、熊本県技能士会連合会等との連携を積極的に推進していく。さらに、東北地方との交流事業も継続していく。
- (5) 伝統的工芸品産業の振興発展のためには、即売展示室（以下、「工芸ショップ匠」という。）の売上げを確保することが重要である。そのため、消費者ニーズにあった商品開発を進め、民間事業者と連携して一層の販売力の強化に努める。
- さらに、展示場への来場者が工芸ショップでの購入増につながるような仕組みを構築する。

2 事業別概要

(1) 指定管理事業（指定管理部門）

① 伝統的工芸品及び関連する資料の収集、保管、展示に関する業務

国指定及び県指定の伝統的工芸品を中心に、道具や材料・関係文書等について資料収集を行うとともに、国レベルの展覧会入賞者（県内在住・出身）についても同様に収集を行う。併せて、寄贈による収集も行う。県備品（工芸品）については、規定に則った適切な管理を行う。

工芸館主催の企画展示については、新型コロナウイルスの影響による来館者の大幅減少からの回復を図るため、当館の運営全般にわたるアドバイザーを招へいし、企画展示のあり方についての検証を行う。

ア 生活提案型常設展示

工芸館が収蔵する国指定・県指定の伝統的工芸品の紹介と生活工芸品（陶磁器、肥後象がん、刃物、家具、竹細工、郷土玩具等）が現代の暮らしに生かされる形態の展示を行うことで、工芸ファンの拡大を図る。

また、展示品解説や映像資料等による説明を取り入れるなど、日頃の暮らしで身近に感じる展示、理解しやすい展示を行う。

イ 伝統的工芸品等の企画展示

県内外の優れた工芸品を県民へ紹介し、工芸への理解を深めてもらうために、工芸館の主催で企画展を開催。

企 画 展 名	開催時期
木葉猿 1300 年展	5 月～8 月
椅子デザイン展	9 月～12 月
アーカイブ展	令和6年1月～3月

ウ 1階展示室における企画展示

公募展、伝統工芸品産地育成等をテーマとした展示会を開催する。

企 画 展 名	開催時期
涼の工芸展	7/11～7/17
熊本の工芸展（仮称）	5/16～5/21
くまもと工芸夏まつり	8/1～8/6
東北工業大学連携協定「北のクラフト展」	8/8～8/20
暖の工芸展	2/6～2/12
工芸産地育成展	
・宇土半島 和の職人展	4/25～4/30
・上益城の工芸展	6/6～6/11
・八代の工芸展	9/12～9/18

・熊本県文化懇話会 クラフト部門展	10/17～10/22
・伝匠会展	12/5～12/10
・天草陶磁器展（国指定伝統的工芸品）	3/5～3/10
・ASOモノづくりネットワーク展	3/12～3/17
・あさぎり町てしごと展	3/28～4/2

エ その他展示室における企画展示

伝統工芸品の普及啓発・産地育成等をテーマとした展示会を開催する。

企画展名	開催時期
・肥後象がん展（国指定伝統的工芸品）	10/3～10/9

オ 工芸ショップ匠における企画展示

季節ごとに工芸品のある生活提案コーナーやギフトコーナーを設置する。

② 伝統的工芸品産業の振興及び発展に関する業務

ア 工芸館に関する広報

(ア) ホームページでの工芸館の案内

催事予定の周知については、リーフレットからホームページを活用した案内に移行する。来館者等でリーフレットを希望される方に対しては、館で印刷したものを備えておき配布することで対応する。

(イ) 開館40周年記念誌の作成

開館40周年を記念し、館設立に関わりの深い者の寄稿による40周年記念催事の記録等をまとめた記念誌を作成する。

イ 伝統的工芸品の作り手（工芸家）の人材育成

(ア) 「二代目」等に対する支援

県内工芸家の後継者や将来の伝統的工芸品作家を目指す若手の工芸家等に対して、展示会開催に伴う経費の一部を助成する。

(イ) 後継者育成事業

全国のクリエイターや学生等が県内の工芸家の工房での就業体験を行うための事業を県と連携して行う。

ウ 伝統手工芸品産地の育成支援

(ア) 伝統的工芸品の国指定を受けた組合に対する支援

肥後象がん振興会、小代焼窯元の会、天草陶磁振興協議会、山鹿灯籠振興会の国指定伝統的工芸品の4組合については、会の運営等に係る助言、展示会の後援等を行う。

さらに、4組合の指定後のこれまでの歩みや現状と課題を関係者で共有し、今後の支援策を検討するために、国指定4組合及び国（九州経済産業局）、県（本庁及び関係地域振興局）、関係市町村等による合同会議（意見交換会）を県と共催で開催する。

(イ) 伝統的工芸品産地の育成のための支援

県内の産地が開催する工芸館での地域別・業種別の展示会等について、必要な助言指導を行うとともに、工芸館としてこれを後援する。

エ 伝統的工芸品産業の振興を通じた地域貢献等

小中高校生等に伝統的工芸品等に対する理解を深めてもらうため、中学生（ナイストライ）、高校生・大学生（インターンシップ）の職場体験受け入れや、伝統的工芸品に関する出前授業又は体験学習を実施するとともに、熊本市教育センターと連携して、伝統工芸の伝承を目的とする子ども教室事業（不登校児童・生徒対策事業）に取り組む。

さらに、県内大学生等の卒業作品の展示等への協力や、学芸員の実習生の受け入れも行う。

オ 伝統的工芸品産業に関する団体等との連携

熊本県伝統工芸協会及び友の会については、総会、理事会の運営や同協会が行う事業への支援を行うとともに、（一財）伝統的工芸品産業振興協会や各県工業技術センター、各産地組合等とは、展示会の共同開催や情報交換を行い、連携を深める。

また、展示会等の開催に当たっては、展示品の相互貸借・情報の交換等によって、県内外の美術館・博物館等との連携を図る。

さらに、連携協定を結んでいる東北工業大学と協力し、熊本の工芸産地の新たな取組みを検討、シンポジウム等の開催を行う。

カ 工芸館外での各種展示や催事等への協力による工芸品の紹介

県庁秘書グループ内陳列棚や、県庁1階ロビー県産品紹介棚、グランメッセ、協力企業等で工芸品を展示するとともに、県内の博物館・美術館・公民館等の各種催事に工芸品を出展・出品する。さらに、近傍商店街との連携を深め、商店街催事で工芸品の展示等を行い、商店街発行の割引チケットを館でも利用できるように提携を図る。

キ 伝統的工芸品に関する相談

一般県民や伝統的工芸品の製作者、マスコミ等からの質問や相談に対しては、専門的知識を持つ職員により、適切かつ丁寧に対応する。

(2) 指定管理事業（ショップ部門）

① 伝統的工芸品の需要開拓

ア ショップの販売力向上

売上目標は、30,000千円（うち、ネット・テレフォンショップ売上目標は、1,500千円）とし、販売力を強化するために、ショップ担当職員だけではなく、すべての正職員及び嘱託職員が工芸家情報や工芸技術に関する顧客へ説明・対応を行うとともに、一時的に顧客が増加しても臨機応変に接客ができる体制を整える。

また、外部の民間会社から、工芸品の陳列方法やPR方法等について助言指導を受ける体制を構築する。

イ 需要開拓の取り組み

記念品や贈答品を中心とした商品カタログを作成する。ホームページでも誂え等を含む商品情報を増やし、工芸館の強みをPRする。また、カタログ冊子は企業やホテル等へ配布しPRする。

特に宿泊者数の増加が期待されるホテルには、ロビー等に飾る伝統的工芸品の販売や貸出し・展示アドバイス等を積極的に行っていく。

また、観光客の誘致を図るため、観光ルートへ工芸館を組み込むよう旅行会社へ働きかける。

ウ 通信販売（ネットショップ・電話注文・ふるさと納税）

インターネットによる注文手続きが不慣れな方が注文しやすいよう、カタログ冊子を作成する。さらには、工芸品の強みであるオーダーメイドにも対応するため、電話やメールでスムーズに注文・販売ができるよう販売システムの改善を図る。また、ショップホームページの商品ラインナップの充実と、SNS等を利用して情報発信の機会を増やす。

② 販売商品の充実

新しい顧客を獲得していくため、県内工芸家や関係機関等と連携して、顧客ニーズに応じた伝統的工芸品の商品開発を行うとともに、工芸家の工房に赴き、よりニーズに合った商品の選定、調達並びに商品のリデザインや新商品の開発支援を行う。

(3) 公益目的事業（熊本県伝統的工芸品産業振興事業）

① 伝統的工芸品産業に係る人材を育成するための助成事業

伝統的工芸品産業の技術の向上と後継者の育成を図るため、県内外の工芸展において優秀な成績を修めた者や伝統的工芸品産業に従事し、将来の発展が期待できる者などが研修を受ける場合に、経費の一部を助成する。

② 県内工芸家の情報収集等

伝統工芸士の卓越した匠の技と心を映像で記録して後世に残し、伝統的工芸品産業の振興を図るため、工芸館独自で、県指定の工芸家を中心に現況等の情報を収集し、必要に応じてアーカイブ映像とともに工芸館のホームページ等で紹介することで広く周知する。

③ 伝統的工芸品普及広報事業

本県伝統的工芸品の素晴らしさを広く発信することによって、伝統的工芸品産業の振興を図る。

ア 県内関係機関との連携

県民向けに伝統工芸情報を発信するため、市町村等自治体や商工団体、地域の商店街、技能士会等が実施するイベントへの参加等、関係団体との連携を図り、より多くの県民が伝統工芸に触れる機会を増やし、理解を深める。

イ ワークショップ・講演会等の実施

県内外の知識人や著名な工芸家、熊本県伝統工芸協会、熊本県技能士会連合会等と連携して、工芸館内の工房や会議室等を活用した、県民や県内工芸家向けの体験教室（ワークショップ）や講演会等を年間30回程度開催する。

ウ 県内施設・団体との連携事業

KKRホテル等県内商業施設や文化教育施設、団体等と連携して試作品を共同開発し、各現場や授業の中で伝統的工芸品を使用してもらい、伝統工芸の良さを体感してもらおうと共に、その様子を発信し、広く県民に対して工芸の価値を認識してもらおう。

エ 熊本の伝統工芸の魅力発信事業

新聞社、テレビ局等のマスコミと連携し、現代の地球環境問題対策にも繋がる故秋岡芳夫氏の提案や活動を紹介することにより、新たな工芸の魅力を発信する。さらに、熊本城周辺施設や県内外の施設とも連携し、企画展及び熊本の伝統工芸に関する情報を発信する。

第2 収支予算書

令和5年度 収支予算書案

科 目	指定管理事業		財団工芸品 等収集事業	公益目的 事業	法人会計	予算総合計	前年度 最終予算額
	ショップ部門	指定管理部門					
予 算 額	予 算 額	予 算 額	予 算 額	予 算 額	予 算 額		
I 事業活動収支の部							
1 事業活動収入							
①基本財産運用収入	0	0	0	0	2,000	2,000	2,000
基本財産利息収入					2,000	2,000	2,000
②特定資産運用収入	0	1,000	0	0	0	1,000	1,000
退職給与引当利息		1,000				1,000	1,000
研修助成積立金利息		0				0	0
工芸品等取得資金利息		0				0	0
③事業収益	10,400,000	8,050,000	0	0	0	18,450,000	17,870,000
運営事業収入		50,000				50,000	50,000
販売手数料等収入	9,000,000					9,000,000	9,000,000
ネットショップ売上収入	900,000					900,000	50,000
商品売上収入	500,000					500,000	680,000
広告料負担金収入	0	0				0	0
使用料・観覧料収入		8,000,000				8,000,000	8,090,000
④受取指定管理料	0	78,000,000	0	0	0	78,000,000	79,950,000
県受託金収入		78,000,000				78,000,000	79,950,000
⑤寄付金収入	0	1,000	0	0	0	1,000	1,000
寄付金収入		1,000			0	1,000	1,000
⑥受取協賛金	0	0	0	0	0	0	0
受取協賛金等収入		0				0	0
⑦雑収入	0	50,000	0	0	1,000	51,000	1,911,000
運用財産受取利息					1,000	1,000	1,000
雑収入		50,000				50,000	1,910,000
⑧他会計からの繰入金収入			0	4,703,000	2,364,000	7,067,000	5,710,000
事業活動収入計	10,400,000	86,102,000	0	4,703,000	2,367,000	103,572,000	105,445,000
2 事業活動支出							
①事業費支出計	15,281,000	75,294,000	0	4,603,000	0	95,178,000	98,985,000
給料手当	4,404,000	22,742,000		1,441,000		28,587,000	30,221,000
臨時雇賃金	5,071,000	3,164,000		714,000		8,949,000	8,283,000
賞与	1,387,000	4,050,000		444,000		5,881,000	5,831,000
退職給付費用	0	0		0		0	0
退職年金掛金	231,000	680,000		75,000		986,000	984,000
福利厚生費	948,000	5,917,000		309,000		7,174,000	7,101,000
報酬	0	50,000		0		50,000	50,000
会議費	5,000	148,000		10,000		163,000	300,000
旅費交通費	35,000	1,625,000		50,000		1,710,000	1,896,000
交際費	0	305,000				305,000	370,000
通信運搬費	600,000	1,849,000		10,000		2,459,000	2,470,000
広告料	50,000	680,000		0		730,000	2,160,000
車両購入費					0	0	0
消耗什器備品費	0	50,000		0	0	50,000	170,000
消耗品費	400,000	1,795,000		30,000		2,225,000	2,610,000
修繕費	0	2,000,000		0		2,000,000	2,000,000
印刷製本費	50,000	1,030,000		70,000		1,150,000	1,570,000
光熱水料費	0	8,800,000		0		8,800,000	8,800,000
賃借料	150,000	1,030,000		0		1,180,000	1,200,000
保険料	0	40,000		40,000		80,000	80,000
支払手数料	350,000	190,000		10,000		550,000	550,000
諸謝金	20,000	940,000		100,000		1,060,000	1,370,000
租税公課	650,000	4,919,000		0		5,569,000	5,569,000
工芸品収集費		50,000				50,000	250,000
支払負担金支出	0	1,130,000		0		1,130,000	1,130,000
支払助成金支出	0	1,000,000		1,000,000		2,000,000	800,000
委託費	30,000	10,860,000		300,000		11,190,000	12,060,000

科 目	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額		
商品仕入費	840,000					840,000	850,000
雑費	60,000	240,000				300,000	300,000
雑損失	0	10,000		0		10,000	10,000
②管理費計	0	0	0	0	2,367,000	2,367,000	3,185,000
役員報酬					300,000	300,000	300,000
給料手当					1,008,000	1,008,000	1,027,000
賞与					50,000	50,000	50,000
退職給付費用					0	0	0
退職年金掛金					0	0	0
福利厚生費					253,000	253,000	252,000
報酬					10,000	10,000	200,000
会議費					80,000	80,000	80,000
旅費交通費					50,000	50,000	50,000
通信運搬費					30,000	30,000	30,000
消耗品費					50,000	50,000	70,000
修繕費					10,000	10,000	150,000
印刷製本費					15,000	15,000	15,000
光熱水料費					165,000	165,000	165,000
賃借料					35,000	35,000	35,000
保険料					10,000	10,000	100,000
支払手数料					20,000	20,000	20,000
委託費					150,000	150,000	510,000
租税公課					131,000	131,000	131,000
③他会計への繰入金支出	0	7,067,000	0	0	0	7,067,000	5,710,000
事業活動支出計	15,281,000	82,361,000	0	4,603,000	2,367,000	104,612,000	107,880,000
事業活動収支差額	-4,881,000	3,741,000	0	100,000	0	-1,040,000	-2,435,000
Ⅱ投資活動収支の部							
1 投資活動収入							
特定資産取崩収入計	0	4,703,000	0	1,000,000	0	5,703,000	5,728,000
退職給付引当特定預金取崩収入						0	0
工芸品等取得積立取崩収入						0	0
財政調整積立金取崩収入		4,703,000				4,703,000	2,528,000
研修助成金積立取崩収入				1,000,000		1,000,000	200,000
展示会開催積立取崩収入		0				0	3,000,000
投資活動収入計	0	4,703,000	0	1,000,000	0	5,703,000	5,728,000
2 投資活動支出							
① 特定資産取得支出計		0		0		0	0
退職給付引当特定預金支出						0	0
工芸品等取得積立金支出						0	0
財政調整積立金支出		0				0	0
研修助成金積立金支出		0		0		0	0
展示会開催積立金支出		0				0	0
② 固定資産取得支出計		0	0	0	0	0	-1,000,000
工芸品取得支出			0			0	-1,000,000
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0	-1,000,000
投資活動収支差額		4,703,000	0	1,000,000		5,703,000	6,728,000
Ⅲ 予備費支出	0	800,000	0	100,000	0	900,000	900,000
予備費	0	800,000	0	100,000	0	900,000	900,000
当期収支差額	-4,881,000	7,644,000	0	1,000,000	0	3,763,000	3,393,000